ACDTORS

AutoCAD の印刷機能を利用したラスター変換プログラム ACDTORS 簡易マニュアル

カーネルコンピュータシステム

特長

1. AutoCAD(標準版)を利用して、AutoCADデータ(DXF,DWG)をラスターに変換します。AutoCAD(標準版)から弊社プリンタドライバKDdriver_long for Windowsに直接印刷することで、精度の高い変換結果が得られます。
2. モデル空間、ペーパー空間共に変換可能です。
3. AutoCADデータに貼り付けられたイメージデータやOffice等のOLEデータもそのまま変換可能です。
4. 出力フォーマットがマルチページに対応している場合は、シングルページとマルチページでの出力を選択することが可能です。
5. ダイアログアプリケーション(GUI)としてもバッチアプリケーション(CUI)としてもご利用できます。
6. バッチ変換による連続実行が可能です。
7. 標準版以外のAutoCAD製品(AutoCAD Mechanical等)が同時にインストールされている共存環境での動作も確認できております。(標準版を利用した動作のみの確認となっています。)
8. レイヤーの表示・非表示を設定することが可能です。

注意事項

- 本アプリケーションを使用する際にはAutodesk社製品のAutoCAD(標準版)が必要です。
  AutoCAD Mechanical版には対応していませんが、AutoCAD Mechanicalをインストールする際に同時にインストールされる標準のAutoCADを使用しての変換は可能です。
- KDdriver_long for Windowsを使用します。なお、KDdriver_long for Windowsは付属しておりますので、別途購入する必要はありません。

動作環境

Windows	10 64bit, 11 64bit
AutoCAD	AutoCAD 2021 ～ AutoCAD 2027

注意事項

対応OSはAutoCADの対応OSに依存します。

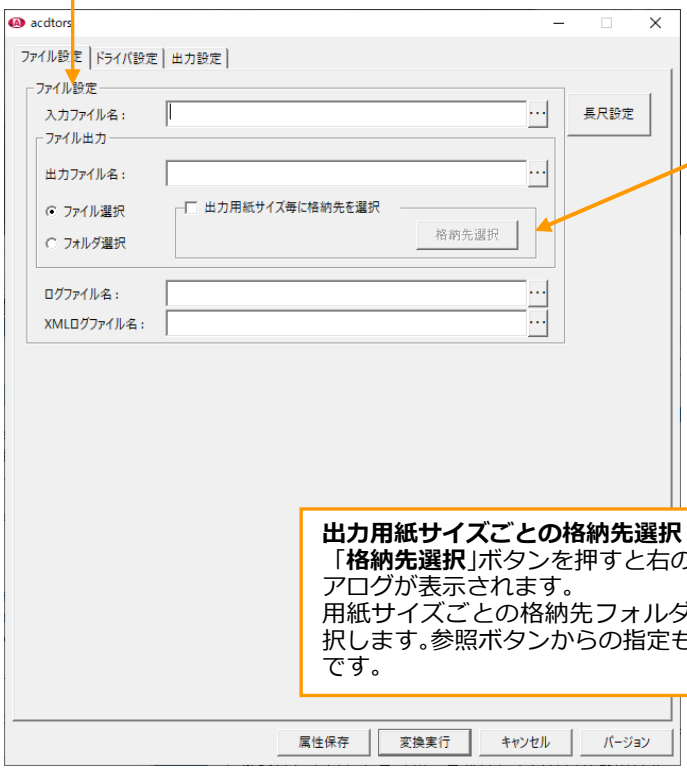
標準価格

型番	製品名	価格(税抜き)
KD-RAS0809	ACDTORS	45 万円

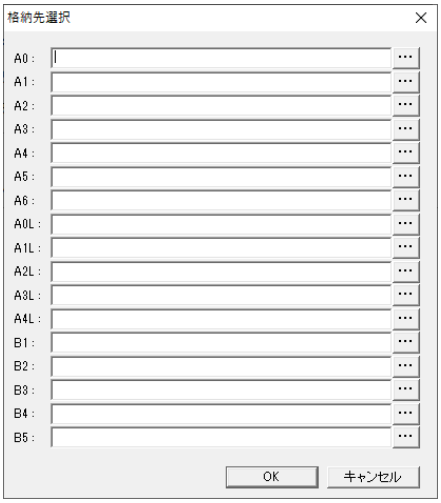
操作画面

ファイル設定

入力ファイル名
出力ファイル名
ログファイル名
XML ログファイル名

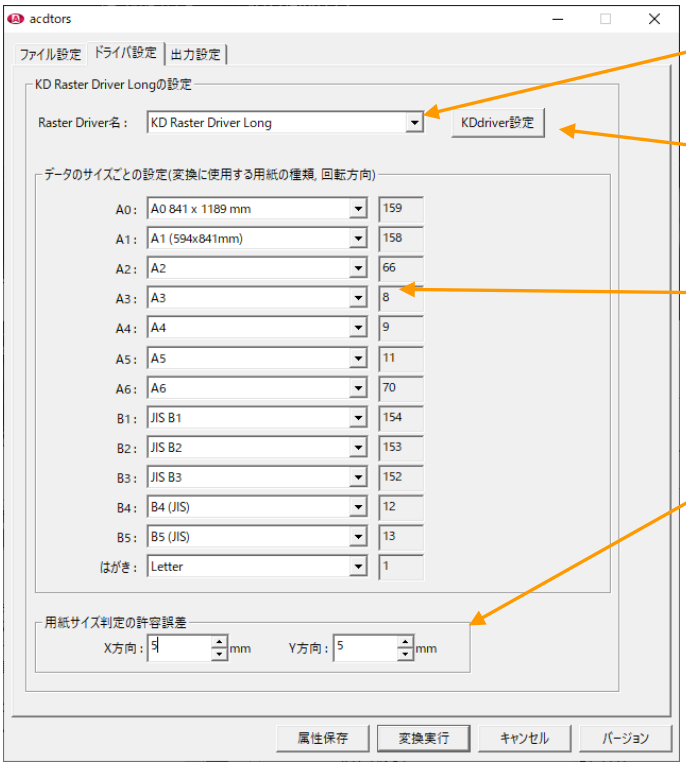


出力用紙サイズごとに格納先選択
変換結果を用紙サイズごとに別のフォルダに振り分けることが可能です。



出力用紙サイズごとの格納先選択
「**格納先選択**」ボタンを押すと右のダイアログが表示されます。
用紙サイズごとの格納先フォルダを選択します。参照ボタンからの指定も可能です。

ドライバ設定



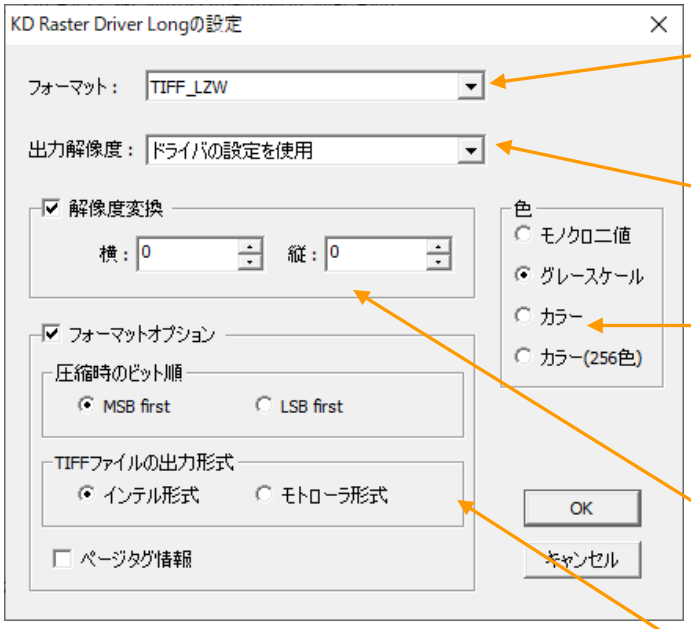
ドライバ名
KD Raster Driver Long を選択します。

KDdriver 設定ボタン
KDdriver の印刷設定を変更します。

用紙
データの用紙サイズごとに、実際に印刷に使用する用紙を指定します。

用紙サイズ判定の許容誤差
用紙サイズを判定する際の許容誤差を設定します。

KD Raster Driver Longの設定



出力フォーマット
出力フォーマットを指定します

出力解像度
印刷解像度を指定します。

色
出力するラスターデータの色を設定します。

解像度変換
[出力解像度]で印刷されたラスターの解像度を変換します。
横・縦それぞれの方向に任意の値が指定可能です。

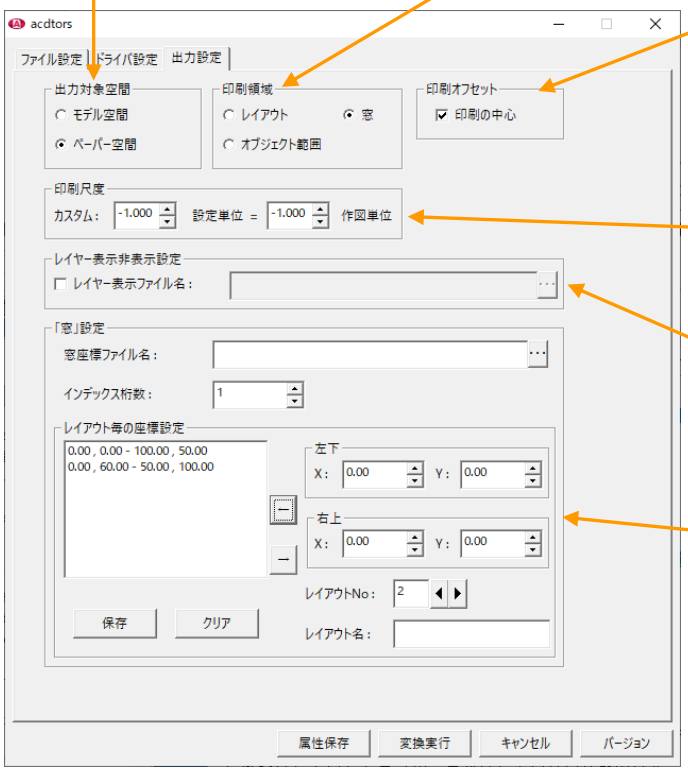
フォーマットオプション
出力するフォーマットに関する設定を変更します。

出力設定

出力対象空間指定
変換対象をモデル空間とするか、ペーパー空間とするかを指定します。

印刷領域指定
印刷領域に「レイアウト/図面範囲」、「窓」、「オブジェクト範囲」のいずれかを指定します。

印刷オフセット
印刷オフセットの「印刷の中心」を指定します。



印刷尺度
印刷尺度を設定します。
元データに設定されている印刷尺度の使用も可能です。

レイヤー表示非表示設定
レイヤーの表示非表示を設定したテキストファイルを指定します。

窓設定
各レイアウトに最大 8 個の窓が指定できます。

コマンドでの操作方法

ACDTORSは、コマンドラインから実行したり、バッチファイルやシェルスクリプトに組み込んだりすることができます。ここでは、直接コマンドラインから入力して実行する場合の、基本的な操作手順を示します。バッチファイルなどでご利用になる場合は、コマンドラインに入力する代わりにファイルの中に記述してください。
変換を実行するには、次のような形式でコマンドラインに入力します。

```
ACDTORS 変換前のファイル名 -O変換後のファイル名
```

-Oは、マイナス記号とアルファベットの「オー」です。大文字でも小文字でもかまいませんが、全角文字は使えません。また、変換後のファイル名は空白を空けずに-Oの直後に指定します。

たとえば、abc.dwgをabc.tifに変換するには次のように入力します（下線部が入力する部分です。）

```
> ACDTORS  abc.dwg  -Oabc.tif
```

リターンコードはデフォルトでは以下が返されます。
正常終了[0]
エラー終了[0以外]

主な制限事項

- 印刷範囲でオブジェクト範囲を指定した場合、用紙サイズに尺度自動調整で出力します。
- 印刷範囲でレイアウトを指定した場合、データに指定されたままの状態で出力しますので用紙サイズを正しく設定しておく必要があります。
- ログファイルはプログラムでは削除をおこないませんので任意に削除してください。
  XML ログファイルには表示するための xsl ファイルがありますので、このファイルも同時に削除してください。
- 壊れている図面を読み込んでエラーになった場合は、エラーダイアログを終了させ ACDTORS を終了させてください。
  AutoCAD が非表示で止まっている場合がありますので、タスクマネージャから AutoCAD を終了させてください。
- 変換中に AutoCAD 画面が表示されますが、オペレーティングをおこなわないでください。
  印刷がおこなわれない場合があります。
  もし、オペレーティングをおこない AutoCAD が終了されなかった場合、特に問題はありませんが、手動で AutoCAD を終了させてください。また、非表示の状態で止まっている場合もありますので、その場合はタスクマネージャから AutoCAD を終了してください。
- AutoCAD LT では動作しません。
- AutoCAD のシステム変数 DWGCHECK の値によっては、ACDTORS の変換処理中に「AutoCAD の警告」ダイアログが表示され変換処理が途中で止まってしまう可能性があります。
- パラメータは大文字、小文字どちらでも認識されますが、全角文字は使えません。
  また、パラメータとファイル名、ドライバ名等の間に空白をいれないでください。
- 「窓」指定はペーパー空間のみ指定可能です。最大 8 件まで指定できます。単位は mm です。
- サービス上での動作や、ログオンしていない状態での動作は保障していません。
- UAC(ユーザーアカウント制御)が有効になっている場合、UAC で保護されているフォルダにあるファイルを変換することはできません。
- 3D ダイナミック視点(DVIEW)を実行されたことのあるデータを使用する場合は、印刷範囲が意図したものと異なる場合があります。
- AutoCAD で正常に開くことができないデータや、印刷が正常におこなえないデータには対応できません。
- AutoCAD のライセンス認証プログラムのエラーダイアログが出力された場合は、ダイアログを手動で閉じる必要があります。また、サインイン画面が表示された場合は手動で入力して対応をする必要があります。

KCS
カーネルコンピュータシステム株式会社
https://www.kernelcomputer.co.jp

パッケージ販売部
〒221-0056 横浜市神奈川区金港町 6-3 横浜金港町ビル
TEL　045-442-0500
FAX　045-442-0501